

平成30年12月14日

各位

学校法人大阪医科薬科大学
高槻中学校・高等学校
校長 工藤 剛

高槻中学校・高等学校 第3回アクティブラーニング公開研究会のご案内

寒冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校では、2015年度より松下佳代先生(京都大学教授)をアドバイザーに、森朋子先生(関西大学教授)を共同研究者に迎え、「知と能力を育むディープ・アクティブラーニング」を研究課題として「深い学び」を意図したアクティブラーニングの推進に取り組んでおります。今年度は「探究につながる深い学び～汎用的な思考スキルを教科の中でどう育成するか」をテーマに研究と実践を重ねてきました。そこで下記の通り公開研究会を開催し、本校の取り組みや現時点での成果等を発表しようと計画しております。

つきましては、諸先生方にご参会いただき、ご指導・ご助言を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

なお、本研究会とは別に、SSH・SGH課題研究発表会(本校主催、SSH・SGH事業・2月23日実施予定)も企画しております。要項は後日HPに掲載しますので、こちらの方もご参加の程よろしくお願い申し上げます。

記

日 時：2019年2月16日(土) 13:30～(受付開始 13:00～)

会 場：高槻中学校・高等学校 〒569-8505 大阪府高槻市沢良木町2-5 TEL072-671-0001

定 員：150名(各授業25名：事前申込制) 第二部以降の参加はこの限りではありません

申 込：1月10日(木) 10:00よりHPにて (<http://www.takatsuki.ed.jp/>)

参加費：1000円(当日、受付にてお支払い下さい)

内 容：

第一部 [会場：各教室(後日案内)]

(1) 公開授業(定員は各授業25名：事前申込制) 13:30～14:20

- | | | |
|---------|---|-----------|
| ・国語 | 中1 「物語を構成する各要素の効果について、比較・対比を用いて考察する」 | (担当者：石堂) |
| ・社会(地理) | 中2 「ディベート『原子力発電はやめるべきか』」 | (担当者：杉原) |
| ・数学 | 中2 「To Be The Teacher ～場合の数・確率を用いて～」 | (担当者：畠中) |
| ・理科(化学) | 高2 「なぜ海の水はしょっぱいか～マイクロスケールを用いた金属イオンの反応～」 | (担当者：石川) |
| ・英語 | 高2 「論理的な英文を書く ～主張と理由をどうつなげるか～」 | (担当者：松本) |
| ・道徳 | 中1 「論理的に『考え、議論する道徳』～『二通の手紙』を教材にした深い学び～」 | (担当者：前田秀) |

(2) 参観者と生徒・教員のフリーディスカッション 14:25～15:05

第二部 [会場：多目的アリーナ]

- (3) 主催者挨拶 15:20～15:25
工藤 剛 (高槻中学校・高等学校 校長)
- (4) 生徒による発表 15:25～15:50
①中学1年生[総合学習]、②高校1年生[SGH課題研究]、③高校2年生[SSH課題研究]
- (5) 講演 15:50～16:15
「学修インタビューがく学びに向かう力>に与える効果の検討」
斎藤 有吾 (藍野大学 医療保健学部 理学療法学科 助教)
*講演の前後に、本校担当者より「学修インタビュー」の内容とカリキュラムマネジメントの観点からの改善について説明します。
- (6) 基調講演 16:15～16:50
「論証モデルを活用してどのように深い学びを実現するか」
松下 佳代 (京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授)
- (7) AL推進4年目の取り組み 16:50～17:05
前田 秀樹 (高槻中学校・高等学校 教頭/アクティブラーニング推進チームリーダー)

第三部 [会場：本校食堂]

- (8) 懇親会 17:15～18:15

◆本校へのアクセス (住所：大阪府高槻市沢良木町2-5)

- ・阪急電鉄 高槻市駅より 徒歩6分
- ・JR 高槻駅より 徒歩15分
- ・京阪電鉄 枚方市駅より 京阪バス20分 (松原下車すぐ)

※本校には駐車場がございません。公共交通機関をご利用下さい。

